

令和4年度 北谷高等学校国語科シラバス（授業の目標・計画書）

教科	科目名	単位数	学年	必修・選択	対象クラス
(国語)	国語表現	2	3	選択	1～7組

1 目標

- (1) 国語を適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高め、思考力を伸ばす。
- (2) 漢字や熟語などの語彙力高め、言語感覚を身につける。
- (3) 積極的に表現することで、自己の意見を論理的に述べる力を身につける。
- (4) 進学や社会生活に向けた小論文の書き方や国語常識を身につける。

2 学習方法及び履修上の注意

定期テスト・・・学期ごとに中間考査・期末考査を実施する。出題は授業内容を主とする。

提出物・・・授業の進度に応じ、授業中又は自宅学習等で、プリント・課題作品・ノート等を提出させる。

授業・・・授業の出欠状況、授業中の態度、発問への主体的取り組みの意欲等により総合的に判断する。

小テスト・・・教材や状況に応じて、内容の理解や音読の確認のために授業内で小テストを実施する。

3 使用教科書

「国語表現」 大修館書店

4 使用副読本

「国語表現 基礎練習ノート」 大修館書店

「小論文頻出テーマ解説集 2022 現代を知る Plus」 第一学習社

「小論文頻出テーマ 2022 チェック＆ワーク」 第一学習社

5 評価の観点・評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	- 表現に対する関心を深め、国語を尊重し向上を図り、すすんで表現したりするとともに、伝え合おうとしているか。 - 課題に積極的に取り組み、また、人の発言をよく聞くとともに、自分の考えを発言しようとしているか。	- 授業への出席状況 - 取り組み態度 - 発言の意欲とその内容 - ノートプリント点検 - 自己評価と相互評価
話す・聞く能力	- 積極的に「話すこと・聞くこと」の学習に取り組んでいるか。 - 自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて効果的に話したり的確に聞き取ったりできたか。 「スピーチ」「プレゼンテーション」といった活動に参加し、決められた役割をこなして成果をあげることができるか。	- 取り組み態度 - 定期考査 - 発言の仕方や内容 - レポート - 音読や朗読など - 自己評価と相互評価
書く能力	- 積極的に「書くこと」の学習に取り組んでいるか。 - 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができるか。 「コラム」「小論文」「レポート」「自分史」「手紙」などといった課題を完成できるか。	- 取り組み態度 - 定期考査 - ノート点検 - 作業プリント - レポート - 自己評価と相互評価
読む能力	- 積極的に「読むこと」の学習に取り組んでいるか。 - 文章を読むことによって、より適切な表現をするために、自分の考えをまとめたり深めたりすることができるか。 - 文章サンプル集などを通じて、実際に読むことを通じて、表現力を高めることができるか。	- 定期考査 - 小テスト - 音読や発言 - ノート点検 - 自己評価と相互評価
知識	- 表現に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけることができるか。 - 特に、漢字や語句に対する理解を広げることができるか。	- 定期考査 - 小テスト - ノート点検 ・自己評価と相互評価

6 授業計画

学期	月	教科書単元名	教科書教材名	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等
				A (話すこと・ 聞くこと)	B (書くこと)	C (読むこと)		関心・ 意欲・ 態度	話す・ 聞く能力	書く能力	読む能力	知識・ 理解	
一学期	4月	1 書いて伝える	1 整った文を書く		3		・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			2 わかりやすい文を書く				・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			3 文のつながり方				・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	5月	2 小論文・レポート入門	1 小論文とは何か		3		・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
			2 反論を想定して書く		3		・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
			4 発想を広げて書く		3		・発想を広げるための方法を理解する。 ・発想を広げるための方法を活用して、小論文を書く。	○		◎		○	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
			6 論文を書くために		3		・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	○		◎		○	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
	6月	3 自己PRと面接	1 自分を見つめて	1			・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	○	○	○			・観察 ・相互評価、自己評価
			2 効果的な自己PR	2			・自分の特長を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	○	○	◎			・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価
	3 将来の自分を考えよう		2			・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	○	◎	◎	○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価	
	4 志望動機をまとめよう		3			・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。	○	○	◎	○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価	
	二学期	9月	3 自己PRと面接	5 面接にチャレンジ	4			・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方をする。	○	◎			○
6 会話・議論・発表			1 相手や場面に応じた会話	2			・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	○	◎			○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
5 声のコミュニケーション			1 言葉のストレッチ体操	2			・聞くこと、話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションについて新たな発見をする。 ・コミュニケーションの楽しさを感じる。	○	◎				・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
		2 リーダーズシアターを開こう	6			・文章の内容に応じてふさわしい声の使い方を工夫し、効果的に朗読する。	○	◎		○	○	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価	
10月		6 会話・議論・発表	2 議論して結論を出す	3			・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	○	◎			○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
			3 プレゼンテーションの工夫	5			・視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。	○	◎	○		◎	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価

学期	月	教科書単元名	教科書教材名	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等
				A (話すこと・ 聞くこと)	B (書くこと)	C (読むこと)		関心・ 意欲・ 態度	話す・ 聞く 能力	書く 能力	読む 能力	知識・ 理解	
二 学 期	1 1 月	4 メディアを駆使する	1 通信文を書き分ける		3		・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
			2 電話を使いこなす	2			・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや対応のしかたを理解する。	○	◎			◎	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価 ・小テスト
	1 2 月		3 ネット社会とコミュニケーション	2			・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。 ・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。	○		◎	○	◎	・作品 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			4 メディアと情報	2			・情報が編集されたものであることを理解する。 ・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。	○			○	◎	・作品 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
三 学 期	1 月	2 小論文・レポート入門	5 レポートを書く		4		・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて、説得力のあるレポートをまとめる。	○		◎		○	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
	2 月		2 詩歌を楽しむ		4		・さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・さまざまな詩歌の鑑賞をふまえて、表現を工夫しながら詩を創作する。	○	○	◎	◎	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
			1 言葉で遊ぶ		3		・さまざまな言葉遊びを知り、おもしろさを味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・言葉遊びの仕組みやおもしろさを理解し、オリジナルの作品を作る。	○	○	◎	○	◎	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
	3 月		8 エッセイを書こう		5		・着眼点、構成、文体、表現などに留意しながら、さまざまなエッセイを読み、味わう。 ・読んだエッセイを参考にして、効果的な表現を工夫しながら自分でエッセイを書く。	○		◎	○	○	・作品 ・相互評価、自己評価

領域	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する (指導の手立て)	評価の方法
関心・意欲・態度	○自らの経験を振り返り、必要に応じて人から聞いたり調べたりして、積極的に情報を集めようとしている。	○自らの経験を振り返り、それを分析して整理しようとしている。	○積極的に取り組んでいる生徒に手本を示させ、意欲を高めるようにする。	○観察、ワークシート
話すこと・聞くこと	○意見の理由となる具体的な事実やできごとを明確に示しながら、意見を出し合っている。 ○長所と短所の関係について、話し合いを通じて他者にも助言している。	○互いに意見を出し合い、他者の意見をふまえて自分の長所・短所について考えを深めている。 ○長所と短所の関係を理解し、短所を長所としてとらえ直している。	○話し合いの様子を観察し、必要に応じて助言を与える。 ○話し合いの様子を観察し、必要に応じて助言を与える。	○観察、ワークシート ○観察
書くこと	○ライフチャートに5項目以上記入している。	○自分の経験・体験とそこから得たことを区別して、ライフチャートにまとめている。(3項目以上)	○ライフチャートを確認し、書き方を指導する。書くことが見つからない生徒には、行事などのヒントを与える。	○観察、ワークシート
知識・理解	○常用漢字以外の漢字も文中で適切に使用している。 ○話し合いにおいて適切な言葉遣いを積極的に用いている。	○常用漢字を文中で適切に使用している。 ○話し合いにおいて適切な言葉遣いをしている。	○書けない漢字などは、別途ノートに練習させる。 ○適切な言葉遣いについて助言する。	○観察、ワークシート ○観察